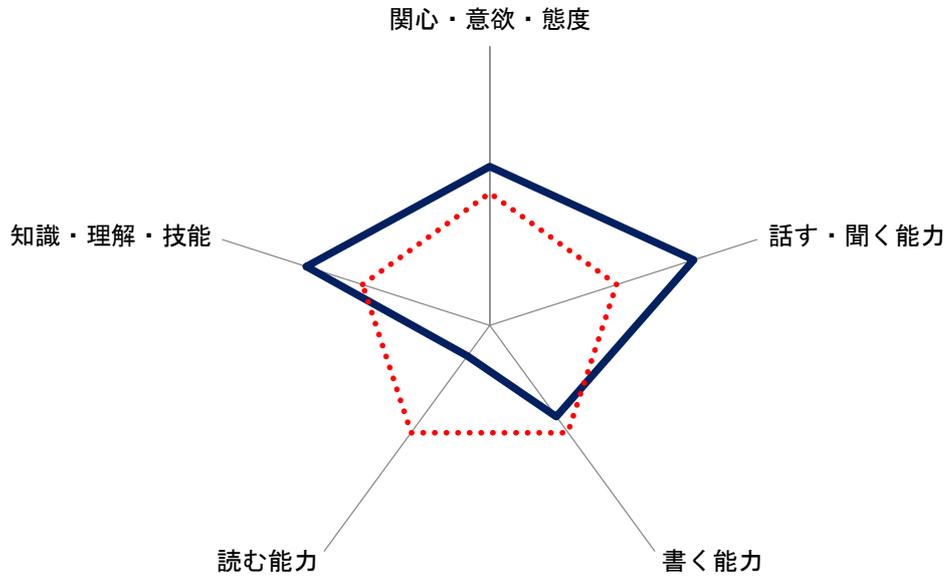


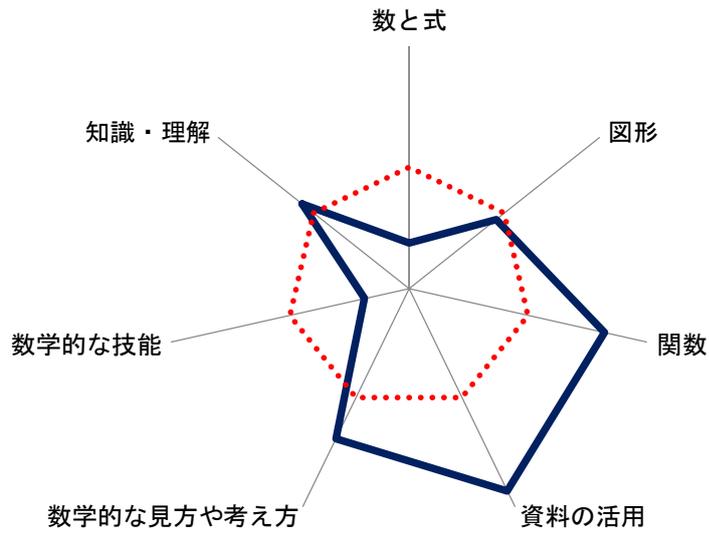
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

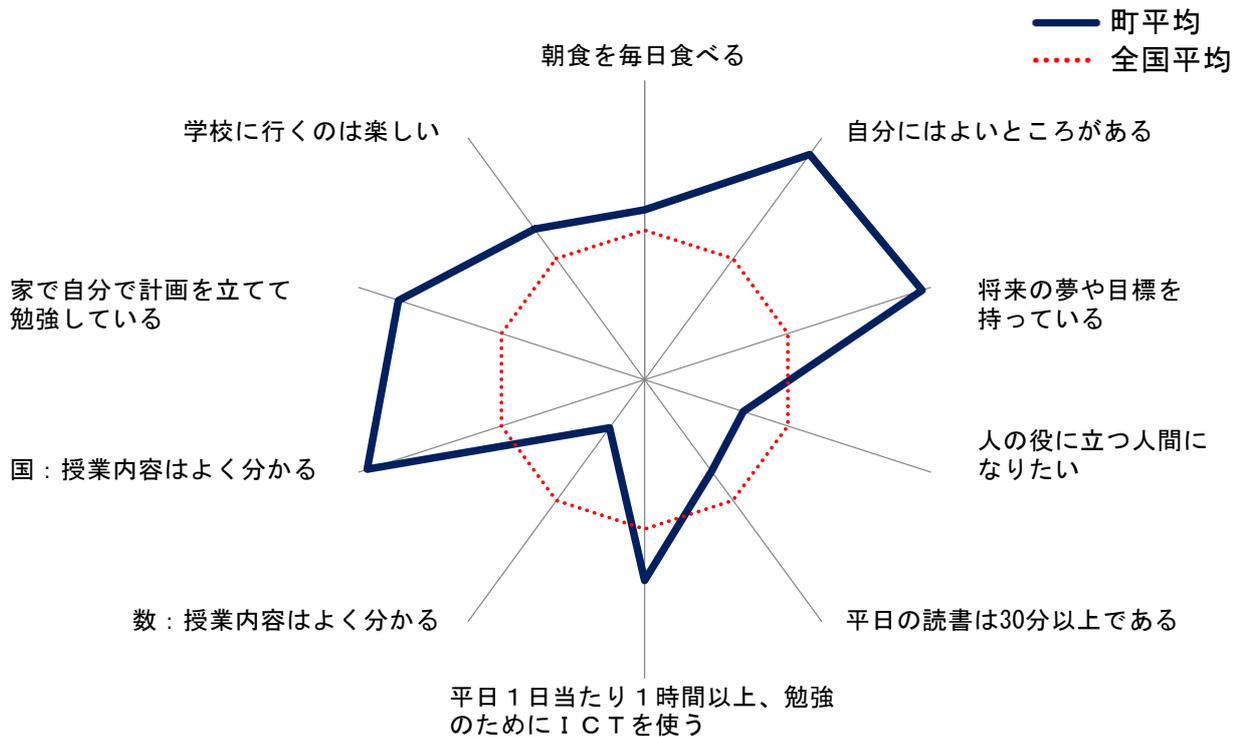
— 町平均  
..... 全国平均



【数学】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話す・書く能力」、数学の「資料の活用」「関数」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、国語の「読む能力」、数学の「数学的な技能」「数と式」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着とその活用について課題が見られる。今後、各教科の設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すことで、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「国語の授業内容はよく分かる」「自分にはよいところがある」「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、前回調査で全国平均を上回っていた「人の役に立つ人間になりたい」の項目が、今回は大きく下回っている。また、「数学の授業内容はよく分かる」の項目も同様に下回っており、今後、生徒にとって「楽しい授業、分かる授業」となるよう授業改善に努めるとともに、主体性や自己肯定感を高めるための教育活動をより一層推進していくことが望まれる。